

授業を大切にする深沢高校
小規模校だからできる
きめ細かな指導の深沢高校



第14代校長 石川 裕子

皆様、深沢高校のホームページによろしくお越しくございました。

本校は、昭和61年4月に開校し、今年度34年目を迎えました。今年度4月1日現在の生徒数は全17クラス(672名)で、過去15年間の中では最大規模となっておりますが、県内の県立高校の中では数少ない普通科の小規模校です。

本校ではこの小規模校のメリットを最大限に活かすべく、「一人ひとりに寄り添ったきめ細かな指導」を合言葉に、授業、部活動、学校行事などに取り組んでいます。

◆ 新しい時代を見据えた学びを深める

本校は授業を大切にします。「学び合い教え合う学習」を目指し、全職員で取り組むテーマを決め、生徒の理解を深める取組をしています。今後必要とされる「**表現力**」の育成においても、プレゼンテーションルームを活用し、授業や学校活動の発表を行うなど、自分の考えを発信する機会を設けています。また、**体験学習を大切に**し、1年生では全員がインターンシップに参加し、職業観の育成を図るとともに、2年生では防災にかかるフィールドワークを修学旅行で実施し、体験を通じて生きる力の育成を図っていく予定です。

新科目「公共」の研究校にも指定されているので、体験学習の機会を活かし、シチズンシップ教育やテーマ別研究に取り組むことで、社会の現状を学び、将来のキャリアにつなげる力を育成していきたいと考えています。

深沢高校での学びを通じて、生徒のみなさん一人ひとりが自分の力を大きく伸ばし、希望に満ちて新たな社会に力強い一歩を踏み出していけるような学校づくりを職員一丸となって取り組んでまいります。引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。